



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和4年12月19日

## 第33回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

令和4年11月28日に開催した、第33回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の議事概要を別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理課 課長 たちばな のぶいち 橘 暢一 電話 0162-33-1031

技術管理課 課長補佐 ささき まさゆき 佐々木 政幸 電話 0162-33-1086

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント [https://twitter.com/mlit\\_hkd\\_wk](https://twitter.com/mlit_hkd_wk)



第33回 稚内開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	令和4年11月28日(月) 稚内地方合同庁舎(ビデオ会議)	
委員長	○井上 京 (北海道大学大学院教授)	
委員	宮武 誠 (函館工業高等専門学校教授)	
委員	高橋 翔 (北海道大学大学院准教授) (○印は委員長)	
議事		
1 令和3年度総合評価落札方式の入札工事・業務(下半期)および 令和4年度総合評価落札方式の入札工事・業務(上半期)について		
2 個別審議		
抽出工事の審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般国道40号 幌延町 元町改良工事</li> <li>・稚内港北護岸防波改良工事</li> <li>・幌延地区 新興幹線排水路上流工区工事</li> <li>・杓形港外3港基本設計その他業務</li> </ul>	
委員からの意見・質問、それに対する回答		
意見・質問	回 答	
個別審議 抽出された工事3件、業務1件について概要説明及び審議を行った。		
<p>① 一般国道40号 幌延町 元町改良工事 (施工能力評価型I型 登録基幹技能者評価型)</p> <p>・評価項目の1番目、軽量盛土(EPSブロック)の施工上の留意点について、評価基準として①浮き上がり防止のための排水対策、②基面の平坦性の2項目記載があるが、両方の記載がある場合2つとも評価するのか。</p>	<p>・別紙様式4「当該工事での留意事項等」の記載要領に明記の通り、<u>1項目につき1提案のみ記載すること</u>とあり、2項目の記載があっても1提案を評価している。</p>	

意見・質問	回 答
<p>② 稚内港北護岸防波改良工事 (施工能力評価型 I 型 施工計画重視型)</p> <p>・全体の配点として20点のうち、施工上の留意点を10点、施工上の安全管理と第三者に対する安全対策をそれぞれ5点ずつとした理由は。</p> <p>・評価項目2「施工における安全管理」において、A社の仮設足場が評価されていない。提案書を見ると安全対策として有効に思えるが、評価されなかった理由如何。</p>	<p>・本工事の主な施工は、劣化したコンクリートの補修であり、適切な施工が求められることから、施工上の留意点の配点を厚くし10点とした。また、高所での作業になること、観光客等にも配慮が必要であることから安全面での配点をそれぞれ5点ずつとした。</p> <p>・作業員の移動手段として仮設足場を設置することは安全面で有効ではあるが、求めている「施工時の安全管理」の内容として不十分と判断した。</p>
<p>③ 幌延地区 新興幹線排水路上流 工区工事 (施工能力評価型 I 型)</p> <p>・企業評価で過去2年度の成績の平均とあるが、どのように算出されているのか。</p>	<p>・各工事の完成後、工事成績評定により点数化され、企業ごとに受注した工事の2カ年の平均を算出し、その平均点数を評価点としたものである。</p>
<p>④ 沓形港外3港基本設計その他業務 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>・業務内容を見ると、基本設計、変状対策検討、施工検討、実施設計、健全度調査と多岐にわたっている。一括発注するメリットは。</p>	<p>・離島における施設設計に係る内容を纏めて発注している。業務の発注手続き軽減の側面もある。</p>
<p>【抽出された工事・業務については、適切な評価として認める】</p>	<p>以上</p>